

2022年12月1日

HOBIA NEWS No.386

● BioJapan 2022 の風景から

● お知らせ (開催予告)

● BioJapan 2022 の風景から

民間企業も基礎研究へ資金サポート

少しだけ参加できた BioJapan でした。コロナも過ぎ去りつつあり、海外からのブースも復活し始めていた。とは言っても展示会の募集段階では、海外からの渡航には留め置きのルールがあって、復活はかつての3割止まりというところだろう。3日間の総参加者は1万5千名を超えたとJBAは報告している。

国内の大学の研究室がたくさんブースを出していた。出展の姿勢はいろいろであったが、積極的なアピールをして参加者と討論を望んでいるところもいくつもあった。出展した研究者の方々の視野を広げたり、マッチングに大いに役だつ出展になっていたように感じた。民間企業のブースでも興味を持ってくれた異分野の人との意見交換を求めているブースもいくつかあった。

聞くことの出来たセミナーでは、ジョンソン・エンド・ジョンソン主催の枠に興味が行った。民間会社が、基礎研究に数億レベルの研究補助を出資するとともに研究発展のための専門家を寄り添わせるというもの。企画の宣伝を兼ねつつその経緯を発表していた。会社の興味のある分野のガン、網膜、免疫などの分野の研究者からの募集を受けて選択する。すでに東京大学や筑波大学の研究者を選びサポートを始めている。同社は、年間2兆円の研究費を支出して全世界でイノベーションをサポートして発展させる事業としている。

日本の企業も大学などの研究に資金を提供しているところも多くなってきている。しかし額がここまで大きくないのがほとんどで、大きいのはまだまだ限られている。日本の税制に問題があって大きな寄付は困難が伴うと聞いたことがある。日本企業も基礎研究をサポートしたい企業はたくさんあるのではないかと期待したい。

文責 浅野行蔵

● お知らせ (開催予告) 概要

■ 2023 HOBIA 第133回冬期例会

開催日：2023年2月3日(金) 14:00~17:00

会場：北海道大学 学術交流会館 小講堂(札幌市北区北8条西5丁目)

参加費：無料

【講演 1】

『農業試験場の近年の成果と今後の取組み（方向性）について』

地独)道総研機構 農業研究本部長

中央農業試験場長 古原 洋氏

【講演 2】

『各種豆及び加工品等に関する話題』

名寄市立大学 教授 加藤 淳氏

■ **地域バイオ育成講座**

<旭川>

2023年1月30日

『高タンパク食と健康』（仮題）

北海道大学農学部 准教授 比良 徹氏

<オホーツク>

2023年3月下旬

『ミルク加工の現在そして未来』（仮題）

講演会とパネルディスカッション

北海道大学 大沼教授

雪印メグミルク(株)ミルクサイエンス研究所札幌研究所 芳 一尚氏

地元加工企業

HOBIAのホームページ <http://www.hobia.jp>

NPO法人 北海道バイオ産業振興協会
札幌市北区北21条西12丁目コラボほっかいどう内